

「IBD 白書 2020」をリリース、IBD 患者 416 人が回答

健康・医療分野の広告メディア事業ならびにマーケティング事業を行う株式会社 QLife（キューライフ／本社：東京都港区、代表取締役：有瀬和徳）は、IBD 患者の治療、食事、就労、日常生活などについてまとめた「IBD 白書 2020」を発表した。調査結果については「IBD プラス」（<https://ibd.qlife.jp/>）に掲載される予定。調査結果の概要は以下の通り。

【調査結果の概要】

○調査概要

実施責任者：株式会社 QLife

目 的：IBD 患者の治療や生活についての実態把握

調査実施日：2020 年 7 月 10 日～8 月 7 日

調査方法：Web アンケート調査

有効回答数：416

疾 患 名：潰瘍性大腸炎 252 人、クローン病 162 人、その他 2 人

○結果概要

IBD 患者の治療や生活に関するアンケート調査を行い、「IBD 白書 2020」を作成した。前回、調査を行った。2018 年時点では、まだ IBD プラス会員数も少なく、調査対象者は計 231 人だった。その後 2 年を経て IBD プラス会員数は増加し、今回は、IBD プラス会員を中心に計 416 人が調査対象者となった。IBD 白書 2020 は、内容別に「患者背景」「治療」「生活」「食事」「情報の入手」「IBD に関するコミュニケーション」、そして今年話題になることが多かった「新型コロナ」「オンライン診療」と、計 8 つの章に分かれている。「患者背景」では、前回調査時と変わらず、20～50 代が回答者の多く（約 8 割）を占めていた。「治療」では、治療薬別に、治療満足度のサブ解析結果も掲載した。「生活」では、周囲に病気であることを明かしている患者が多いとわかった。「食事」では、過半数がいわゆる“NG フード”を食べていることが判明した。「情報の入手」では、IBD プラスなどの web サイトを利用している人が多いことが明らかとなった。「IBD に関するコミュニケーション」では、オンラインでの交流を望む声が多かった。また、今回は、新型コロナウイルス感染症の流行を受けて「新型コロナ」に関する調査も行った。その結果、新型コロナの流行によるストレスが病状の悪化に影響したと考える人は多くないことがわかった。「オンライン診療」については、全体の約 4 割がオンライン診療を選びたいと思っていることがわかった。今回の調査により、IBD 患者は周囲に病気であることを明かし、インターネットなどを通じて、患者目線で有益な情報発信を行っている人が少なくないという実態が明らかとなった。

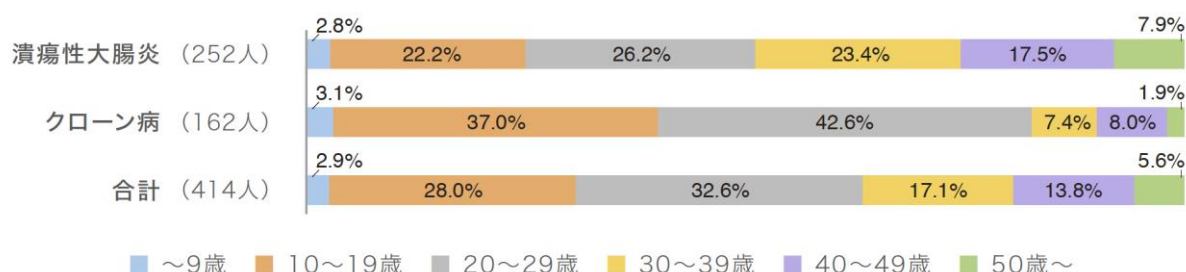
○結果抜粋

【治療】

全体で 20 代、10 代、30 代の順に多く、若年発症が多い傾向

● 最初に潰瘍性大腸炎やクローン病の症状が現れたのはいつですか

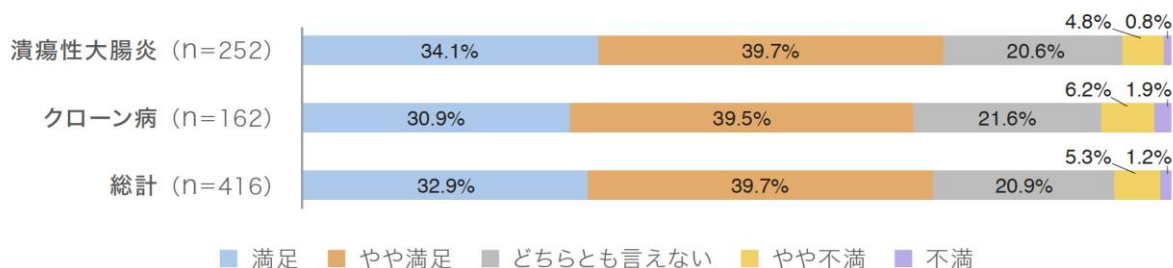
全体で20代が32.6%と最も多く、次いで10代(28.0%)、30代(17.1%)が多かった。炎症性腸疾患 (IBD) 診療ガイドラインに「IBDは若年者に好発する」との記載があるが、今回の結果はそれを裏付けるものとなった。



全体の 7 割以上が、現在受けている IBD 治療に満足している

● 現在受けている、潰瘍性大腸炎やクローン病の治療に満足していますか

全体の72.6%が「満足・やや満足」と回答し、「不満・やや不満」と回答したのは6.5%だった。潰瘍性大腸炎・クローン病に関わらず、全体的に治療満足度は高い傾向にあることがわかった。

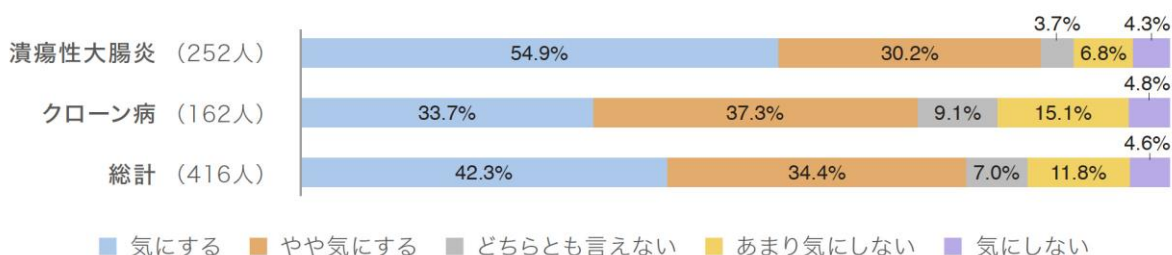


【食事】

潰瘍性大腸炎の約 8 割、クローン病の約 7 割が、食事の「脂質」を気にしている

● 食事の際、脂質を気にしますか

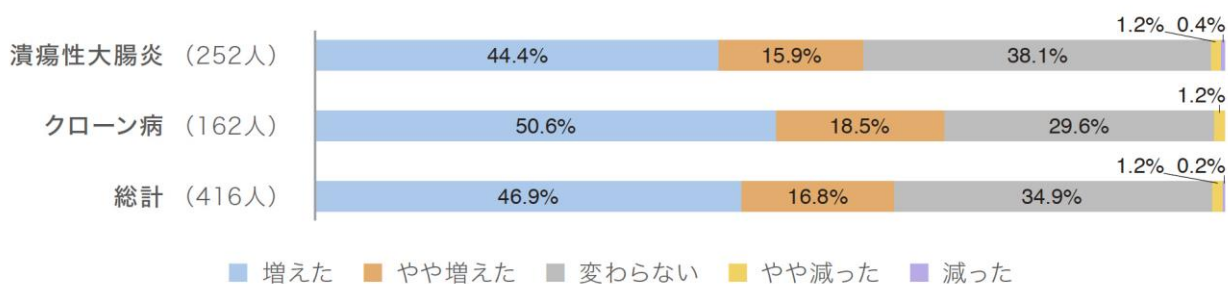
「気にする」と回答したのは潰瘍性大腸炎 54.9%、クローン病 33.7%だった。前問で、潰瘍性大腸炎に比べクローン病の方が経腸栄養剤の使用が多いという結果が得られたが、これが、潰瘍性大腸炎で脂質を気にする割合が多かった理由の一つとなっている可能性が考えられる。



全体の半数以上が、IBD の診断を受けてから「自炊」の回数が増えた

● 診断を受けてから、自炊の回数は増えましたか

「増えた」「やや増えた」と回答したのは全体の63.7%で、半数以上で病気の診断を受けてから自炊の回数が増えたことがわかった。



【会社概要】

会社名：株式会社 QLife（キューライフ）

所在地：〒105-0001 東京都港区虎ノ門 4-3-9 住友新虎ノ門ビル 7F

代表者：代表取締役 有瀬和徳 設立日：2006 年（平成 18 年）11 月 17 日

事業内容：健康・医療分野の広告メディア事業ならびにマーケティング事業 URL：<http://www.qlife.co.jp>

お問い合わせ先：株式会社 QLife IBD プラス事務局 E-mail：ibd_info@qlife.co.jp